

次世代経営者座談会 4

ぶっちゃけ会

新型コロナウイルスを吹き飛ばせ！

「鉄鋼業界が苦しんでいます。先行きをどう見ますか。」

「売上げの8割近くが鉄鋼業界だが、新型コロナウイルス以前から米中摩擦の影響を受け特に内需が低迷していた。これにコロナが追い打ちをかけ、消耗品の受注は前年より減少しそうだ。ただプラントの改修案件の見通しから、2022年6月期頃までは現状の水準を維持できそうだ。鉄鋼の内需回復は難しいと見ている。コロナの影響による減少分がそのまま回復することはなく、それより低い水準での回復になるだろう」

「新型コロナウイルスで働き方や企業経営は大きく変わりますか。」

戸畑製作所 社長 松本 敏治 氏

課題解決のスピードを上げる



「内需低迷、IT活用、自動化投資などは新型コロナウイルス発生以前から指摘されてきたことで、それが今回早まった。鉄鋼も複数の製鉄所で減産や高炉停止が進められるが、これも急な方針

「今後取り組むべきテーマは何でしょう。」
「中小企業基盤整備機構からアドバイザーを受け入れ、生産管理や業務システムの改善に取り組み。铸造や溶接が主力のため省人化などは難しいが、開発や製造の見直しを進めたい。マグネシウム関連では、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の事業において難燃性マグネシウム合金を用いた自動車用ホイールの開発を継続しており、ユーザーの軽量化ニーズに添えていく。また3Dプリンター用に開発したマグネシウム合金粉末の事業化も進める」

「政府への要望を。」
「新型コロナウイルスはインフルエンザ同様に常態化する可能性がある。ワクチンの準備と感染者の重症化回避をお願いしたい。当面はコロナ対応と経済回復の両立をその先はポスト・コロナを見据えた成長戦略を含む経済対策が必要になる」

【企業概要】

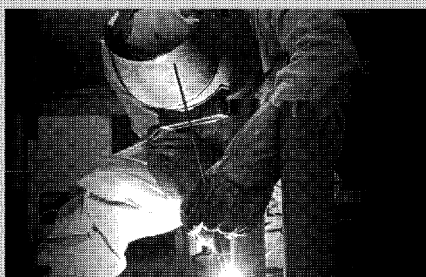
戸畑製作所（北九州市小倉南区）1948年（昭和23）創業。高炉用羽口（送風口）、銅ステープ（熱交換部材）国内最大手。九州大学と共同でマグネシウム合金粉末、積層造形体の研究を行う。20年6月期売上高26億円。

非鉄金属の鑄造・加工・溶接のパイオニア

鑄造と溶接



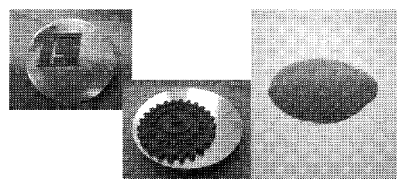
鑄造



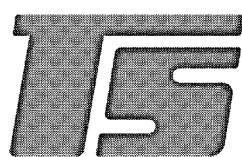
溶接

純銅・銅合金の鑄造・溶接において国内屈指の技術力
日本・世界の鉄鋼生産に貢献

難燃性マグネシウム合金粉末



マグネシウム合金粉末製造方法開発
積層造形プロセス最適化を推進



北九州オンリーワン企業認定
地域未来牽引企業選定

株式会社 戸畑製作所

本社
〒800-0211 北九州市小倉南区新曾根8番21号
TEL (093)471-7789 http://www.tobata-s.com
FAX (093)472-0124 E-Mail : tosei@tobata-s.com